

9月えんだより 特別版

昨年度3月にコロナ禍が急速に拡大したため『臨時休校休園指示宣言』が発令され、幼稚園は休園となり全ての行事が中止となる中『卒園式』だけはと園庭にて環境を整えて行い、76名の子ども達を送り出すことができました。今年度も休園（自由登園）の状態が始まり、4月8日の入園式も各クラスでの入園説明会への変更を余儀なくされました。4月の「緊急事態宣言」より特別保育となり、預かる要件のある子ども達が20名程登園する日々が続きました。

希望に胸をふくらませ元気一杯に登園するはずだった一学期当初、家庭で過ごす子ども達に何か出来る事はないのだろうかと思われ、職員と色々と考え、元気に過ごして欲しいという思いを込めて鯉のぼりの手作り製作キットを作りお渡ししたり、家の中でも元気に身体を動かせるように『ももちゃんマン体操』を動画に撮り限定公開して子ども達の健康を願いました。子ども達はもちろん、保護者の方のたくさんの我慢の結果、やっと6月より分散登園でスタート、中旬から通常保育となり、ようやく全園児が戻り元気な声が園にこだました時には、嬉しくて涙が出そうになりました。しかし、目に見えない感染症の脅威が変わらずある中での保育となるため、新しい生活様式を伝えながら一つ一つの活動も見直して進める中でのスタートとなりました。年長年中組のプール活動も今年度は余儀なく中止となる中で何か子ども達に私達が出来る事がないかと先生たちが知恵をしぼり、運動遊びを深めようと体育教諭を中心に球技をメインとした楽しい活動を2学期より計画しています。また、7月の七夕コンサートは中止となりましたが、この所減ってきていた自然の事象や動植物、星や宇宙への関心を持つ取り組みについて、たっぷりと時間をかけ、掘り下げた内容の保育が出来、クラス毎に内容の深い楽しい取り組みを行う事を計画しました。今回その成果をご覧頂ければと思いこの特別版を発行する事になりました。

ザリガニやおたまじゃくしを飼育し観察するクラス、紫陽花の花を分解してそのしくみを調べて遊ぶクラス、図書館や図書室から宇宙の図鑑や星の絵本を借りて鑑賞し素話をして想像力を高めるクラス等各クラスで少しずつ思いを深め製作活動に取り組み、思い思いの壁面を完成させる事が出来ました。また0・1・2歳児のクラスでは、子ども達の充実した遊びが展開できるコーナー遊びに取り組んだり、ベビー畑での栽培物を収穫し、食べたりと楽しみました。

子ども達の明るい笑顔を見ていると『笑顔は世界を救う』とつくづく思います。コロナウイルスの感染を予防しつつ、規則正しい園生活を行うことが、子ども達の生活リズムを作り、心の安定と集中を育てます。そのことが親子関係、家庭や地域社会にとって安定や平静を保つことに繋がると感じています。こういう時だからこそ、普段の園生活の営みが地域社会や家庭生活にとって大切な心の拠り所となることを忘れず、教職員一同皆様の大切なお子様と共に歩んで参りたいと思います。

文 岡田 弘子

年 長 児

あやめ組「宇宙」



星や惑星のカードあそびを通して宇宙に少しずつ興味を持ちはじめました。図鑑や絵本を見て星座の名前や惑星について知り、オリジナルの星座を作ったり惑星の色を混色して一人ひとり個性豊かに描きました。皆の絵を繋ぐと大きな宇宙空間が完成！！皆の願いが届くといいね。

あじさい組「ザリガニ」



お部屋にやって来たザリガニに夢中になった子ども達。実際に触れたり、図鑑や絵本で調べたりしながら大好きになり、名前も付けました。そんなザリガニを絵の具で大胆に描きました。水辺の生き物や環境にも興味を持ち、自由時間にも折り紙やお絵かきを楽しんだ子ども達です。

すみれ組「虹とあじさい」



虹に興味津々の子ども達。毎日1色ずつ塗り加え最後には大きな虹が壁一杯にかけられました。あじさいの花の押し花やドライフラワーにもチャレンジし、一輪の額の枚数148枚!!!という大発見もしました。これからも色々な自然の事象に興味を持ってほしいと思います。

年中児

すずらん組「おたまじゃくし」



生き物に触れたり見たりする機会が少なくなってきたため、少しでも身近に感じて欲しいとおたまじゃくしを育てました。毎日観察する中で最初に足が出て手が出て最後に尾が取れるという変化に大喜びでした。製作する中で命の大切さも感じてくれたようです。

ばら組「おりひめとひこぼし」



七夕にちなんで、J-ヒールを使用して織姫と彦星の洋服を作りました。色が染まる様子にとっても驚いた子どもたち。「先生きれいだね!」と言って感動していました。お星様に子ども達がそれぞれの願い事も書きました。皆の願いが叶いますように。

ゆり組「海の中の生き物」



子ども達手作りの個性豊かな魚たちとクラゲが優雅に泳いでいる側で、ジンベエザメと一緒に優雅と泳ぐ様子はまるでゆり組そのものを表現しているようです。手型スタンプで海を描いた時は、子どもたちの目はキラキラと輝き楽しく生き生きと取り組んでいました。

年少児

うめ組「自分だけの傘を作ろう」



雨の日も楽しく過ごそうとオリジナルの傘と雫を作りました。傘にはお花や果物を描いたり虹色に塗ったりとカラフルに描き、思い思いの作品が出来上がりました。雫には可愛い顔も描き、雨の日が大好きになりました。

もも組「天の川」



七夕にちなみ、星の製作を楽しみました。まだ天の川を知らない子もいましたが絵本や写真を通して七夕について知るにつれ興味が沸いてきたようです。子ども達はクレヨンでお星様に顔や模様を描き画用紙の夜空に貼って可愛い天の川が完成しました。

たんぽぽ組「七夕飾り」



形つなぎとすいかの七夕飾りを作りました。手作りの笹に飾ると「かわいい!」「おいしそう!」等自分達の作品を満足そうに見上げていた子どもたち。てっぺんの短冊には「健康で友達と仲よく過ごせよう!」と書きお願ひしました。

2歳児

ひよこ組「とうもろこし収穫」



初めての園生活にも慣れ、よくお話しをし楽しく幼稚園で過ごしているひよこ組の子どもたち。園庭で育てているとうもろこしを収穫しました。とても甘くてみんな大喜びでペロリと食べました。次は何を収穫できるかなと楽しみにしている様です。



♪合同保育でのおままごと遊び

ひまわり組「皮むき体験」



お家での生活が長く、自粛後園生活が再開した時には涙する子もいましたが、いつの間にかクラスには笑顔が溢れています。先日のとうもろこし収穫では目をキラキラとさせながら皮を剥く体験をし、実の黄色い部分が見えると「やったー!」と大はしゃぎの子ども達でした。

0・1歳児

あさがお組「コーナー遊び」



コーナー遊びは一人ひとりの玩具の量や遊ぶスペースをより多く取るために始めました。机で遊ぶ機会も増え、座って静かに楽しく遊ぶ子どもも増えています。今後も年齢毎に合わせた遊びを取り入れ、一人ひとりが様々な遊びを体験できるようにしていきたいです。



♪コーナー遊びで作ったお人形さんのベッド

ちゅーりっぷ組「異年齢児との遊び」



子ども達が落ち着いて遊びに集中できるようにとコーナー遊びを展開しています。朝と夕方の合同保育で異年齢児が混ざりあって好きな遊びを楽しんでいます。一人で遊ぶ事が多い子どもたちですが、少しずつお友だちにも興味を持ち共に遊ぶ様子が見られます。